

No. 17-10

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 17 - 10

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日		27年 4月 30日			
事務事業名		文化財保護事業				シート作成部署					
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち				課名	社会教育課		保名	生涯学習係	
		3-2 文化のかおるまちをつくる					シート作成者				
	施策	3-2-1 多様な文化・芸術活動の支援				予算費目	会計		一般		
							款		10		
主要施策	③ 文化財の保存・活用				項		5				
					目		5				
個別計画名											
住民との関わり		特になし									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）							
	町内の文化財			重要な文化財の保存と活用を図り、今後の世代へ継承する。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）										
町内の文化財の調査・指定及び保護を行うと共に、郷土資料の収集・保存・展示を行う。 町内の文化財保護団体に対して補助金の交付を行う。											
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度 ( 年間) <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし									
根拠法令・要綱等		文化財保護法									
		平成25年度(決算)		平成26年度(予算)		平成27年度(予算)					
全体事業費(千円) A+B		4,516		4,516		4,863					
財源内訳	国庫支出金		0		0		0				
	県支出金		0		0		0				
	地方債		0		0		0				
	その他特定財源		0		0		0				
	一般財源		2,272		2,338		2,685				
直接事業費(千円) A		2,338		2,338		2,685					
人件費(千円) B		2,178		2,178		2,178					
内訳	一般職員(人・千円)		0.33 人 2,178		0.33 人 2,178		0.33 人 2,178				
	臨時職員(人・千円)		人 0		人 0		人 0				
成果指標	成果指標名			単位		26年度		27年度		28年度	
						目標 実績		(目標)		(目標)	
	① 指定文化財の点数			点		9 8		9		9	
	②										
③											
説明			指定文化財の点数の多さが、文化財保護事業の成果と考え指標とする。 (26年度 県指定3点、町指定5点)								

事業名	文化財保護事業	シート作成課	社会教育課
-----	---------	--------	-------

一次評価者	社会教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明	
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		文化財は今後の世代にとっても貴重な財産であり、保護・活用に努める法的義務があります。
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		文化財を保護し継承することにより、町民に郷土の歴史を知ってもらい、その中で郷土愛を育み、誇りをもち、まちづくりの意識を向上させることができ、とても有効です。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		文化財を町の貴重な財産と位置づけ、順次掘り起こしを行い保存、継承に努めています。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		専門職員が配置されれば、さらに効率性は向上するものと思われます。

本事務事業の実施適切性の説明

郷土の文化財を保護することは、町の歴史に対する理解を深め郷土愛を育み、地域文化の振興にとって重要なことです。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
今後の改革・改善目標	専門職員がいないため、県や教職員に頼っているのが現状であり、学芸員の確保について検討する必要があります。また保護だけでなく展示・活用を含めた事業内容を考え、町民に支えられる施策が必要です。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
コメント	資料展示の推進と文化財の保存・整理場所等についても今後検討していく必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--